

氷見市議会企画総務委員会会議録

令和5年12月15日(金)
氷見市庁舎議事堂委員会室
開会 午前 9時58分
閉会 午前11時27分

- 1 案 件 令和5年12月定例会において企画総務委員会に付託されたもの
- 2 出席委員 6名
萬谷委員長、北副委員長、穴倉委員、上坊寺委員、積良委員、萩山委員
- 3 委員外議員 正保副議長
- 4 職務のため出席した議会局職員 串田局長、横田次長
- 5 説明のため出席した者の職、氏名
林市長、篠田副市長、大木政策統括監、出戸企画政策部長、東軒総務部長、九澤地域振興課長、天坂総務課長、蔵田財務課長、表税務課長 ほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 経過及び結果
 - ・萬谷委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
 - ・当局の説明を受け質疑応答を行った結果、いずれの案件も全会一致をもって原案を可とすることに決した(主な質疑応答は別紙のとおり)。
 - ・委員長報告は、「城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画について」を特筆することとし、作成は委員長に一任された。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

令和5年12月15日

氷見市議会企画総務委員長

萬谷 文作

令和5年12月企画総務委員会付託案件表

令和5年12月15日（金）午前10時

氷見市庁舎議事堂委員会室

- ◎ 地域振興課 9:59~
- ・ 議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
地域振興課所管に関する事項……………説明書P. 26
 - ・ 議案第74号 物品の取得について……………議案書P. 46
- ◎ 総務課 10:59~
- ・ 議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
総務課所管に関する事項……………説明書P. 12
 - ・ 議案第71号 氷見市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正
について……………議案書P. 28
 - ・ 議案第72号 氷見市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する
条例の一部改正について……………議案書P. 41
- ◎ 税務課 11:10~
- ・ 議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
税務課所管に関する事項……………説明書P. 14
- ◎ 財務課 11:13~
- ・ 議案第65号 令和5年度氷見市一般会計補正予算（第5号）中
財務課所管に関する事項……………議案書P. 1

（注）一般会計における給与費は総務課の所管です。なお、財源補正及び節区分補正に係る説明は不要です。

主な質疑応答

地域振興課 萩山委員	議案第74号 物品の取得について。今回、取得するバスの性能は従来のものと同等か。
九澤課長	同等のものである。
萩山委員	現在使用しているバスの使用年数や走行距離は。
九澤課長	資料を持ち合わせていないので、後ほど提出させていただきたい。
萩山委員	電気バスやハイブリッド車等を導入する長期的展望はなかったのか。
出戸企画政策部長	バスの購入にあたっては運行する加越能バスと協議し、現在、設備がないとのことから今回のバスの購入になった。
萩山委員	市が電気設備等を整備する考えはなかったのか。
篠田副市長	今後は検討していく。
出戸企画政策部長	全国で使用している電気バスは中国製のものが多く、欠陥が発生しているとのことから今回、購入を見合わせた。
積良委員	生活路線バス維持対策事業費について。加越能バスと利用者減少の対策について協議しているか。
出戸企画政策部長	加越能バスとは利用者を増やすために利便性を高めるための議論をしている。
穴倉委員	<案件外>城端線・氷見線鉄道事業再構築実施計画（案）について 経営移管を5年後とした理由は。
出戸企画政策部長	新型車両の導入が5年後であり、そのタイミングでの移管ということになる。
穴倉委員	計画に変更があってもJR西日本からの拠出金の額に変更はないのか。
出戸企画政策部長	JR西日本からは、拠出金に加え安全面での支援、人員の支援、北陸新幹線との連携に関する支援等の確約を得ている。
穴倉委員	資産譲渡に関する考えは。

林市長	無償譲渡が望ましいと考えている。
穴倉委員	16日に開催される市民説明会での意見は計画に反映されるのか。
出戸企画政策部長	市民説明会での意見を含め18日に開催される5回目の検討会で議論することになる。
萩山委員	これまでの検討会では資産譲渡の話は出ていないのか。
出戸企画政策部長	移管までの5年間で決定していく。
萩山委員	沿線四市の負担割合の決定はいつになるのか。
出戸企画政策部長	早急に決めたいと考えている。
萩山委員	事業のスキームはどのようになっているのか。
出戸企画政策部長	計画を申請するまでのスキームはあるが、沿線四市での協議案件に係るものについては今後、早急に決めていきたい。
上坊寺委員	移管後の利用者数の試算基準は。
出戸企画政策部長	国の基準に基づき試算している。
上坊寺委員	氷見駅と島尾駅の利用者数の見込みは。
出戸企画政策部長	JR西日本から公開されていないので不明である。
上坊寺委員	通勤・通学客以外での利用者を増やす方策はあるのか。
出戸企画政策部長	利便性を向上させることにより、これまで利用していなかった通勤・通学客に利用してもらうことに加え観光客の利用者数を増やしていきたい。
萩山委員	経営移管5年後に3億8千万円の収支改善が図られる計画となっているが4年目までの試算はどうなっているのか。
出戸企画政策部長	まちづくり、地域の活性化、観光施策と連動して利用者数を増やしていきたいと考えている。
萩山委員	観光面や地域の経済効果等の間接効果は試算に含まれているのか。

出戸企画政策部長	まちづくりによる効果を考慮して試算している。
林市長	パターンダイヤの導入、路線バスへの接続、パークアンドライドの整備等により利用者数の増加を図っていきたい。
萩山委員	今後、収支計画をブラッシュアップし改善する可能性はあるか。
出戸企画政策部長	改善すべき点は改善し取組んでいきたいと考えている。
穴倉委員	運賃の値上げは想定されているか。
出戸企画政策部長	経営移管時の状況により判断されることになる。
総務課 萩山委員	議案第72号 氷見市会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部改正について。週15時間30分以上勤務の職員が支給対象であることから意図的に勤務時間を減らし、支給対象外としているようなことはないか。
天坂課長	意図的に勤務時間を少なくしたり任用期間を短くしたりするようなことはない。